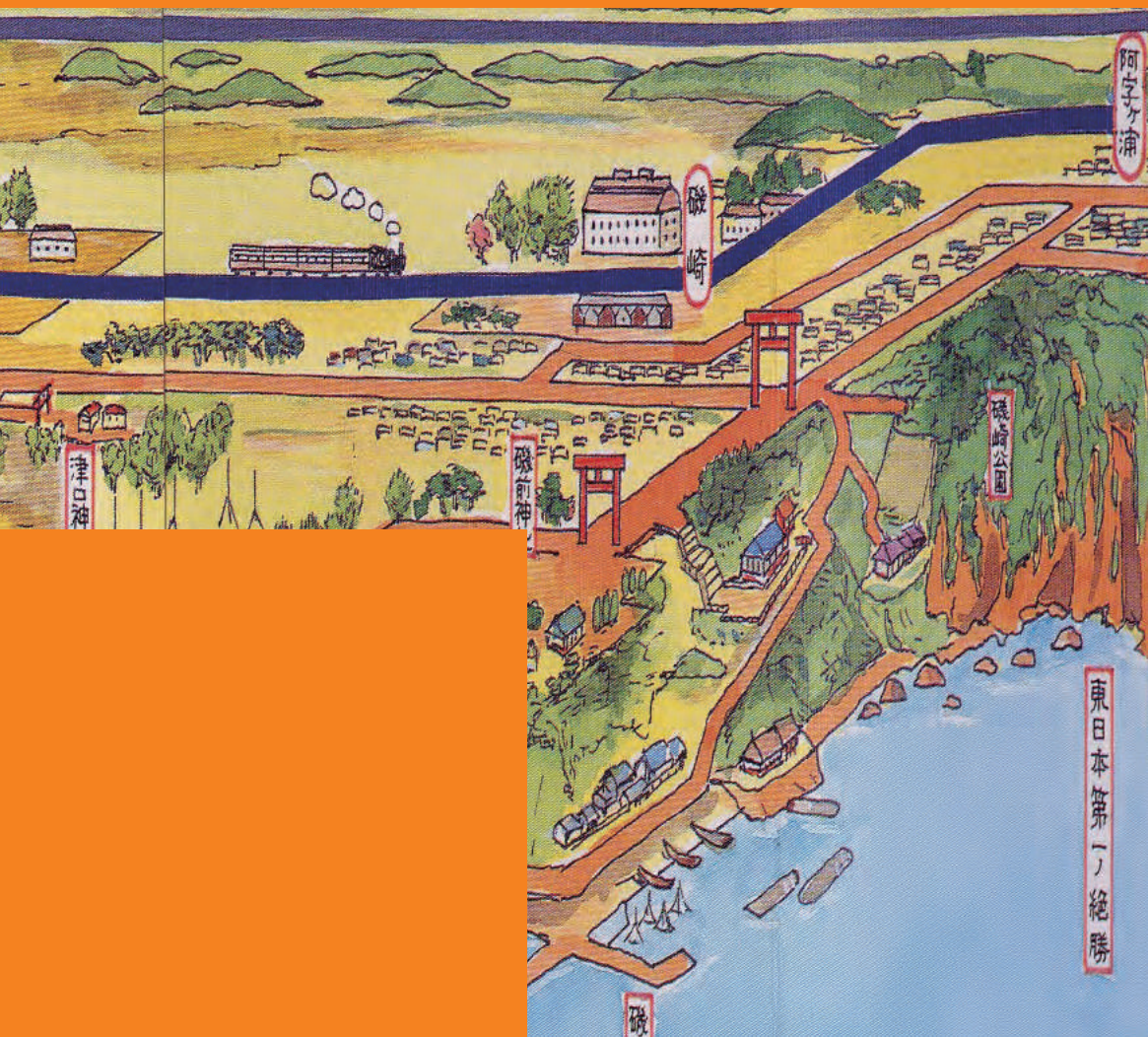
湊線

湊線百年史



ひたちなか海浜鉄道　湊線百年史

日、出づる道。 ひたちなか海浜鉄道株式会社

あ い さ つ

ひたちなか海浜鉄道湊線は、平成２５年１２月２５日に開業１００周年を迎えることができました。

日頃、ご利用ご支援をいただいている皆様に厚く御礼を申し上げます。

歴史をひもとけば、明治３７年に鉄道敷設の仮免許を、明治４１年に本免許を取得したものの、資金難等により幾度も工事が延期された後、ようやく大正２年１２月２５日に勝田・那珂湊間を開業することができました。

その後、大正１３年に那珂湊・磯崎間を、昭和３年に磯崎・阿字ヶ浦間をそれぞれ延伸して今日の湊線が形成されました。これまでの間、幾多の困難もありました。

開業当初は汽船やバスとの競争があり、経営主体も戦争をはさんで湊鉄道株式会社から茨城交通株式会社へ変わりました。

しかしながら昭和３０年代以降、自動車の急速な普及に伴い経営が悪化、平成１８年には湊線の廃止が検討されることとなりました。

そのような中、「鉄道は自分たちが力を合わせて守る」という市民と行政からの力強い支援を得て、平成２０年４月１日に茨城交通の鉄道部門を引き継ぐ形で、ひたちなか海浜鉄道株式会社が誕生しました。

新会社発足後も東日本大震災による施設の損壊、その後の長期運休など大きな危機に見舞われましたが、多くの方のご支援で乗り越えることができました。心より感謝申し上げます。

お蔭様で、沿線への観光客の誘致など、市民・行政と一体となった活性化の成果も上がりつつあります。

長年先人の培ってきたかけがえのない財産を継承し、社員一丸となって安全安心に取り組むと共に、地域と一緒になって発展していくのが湊線の進む姿と考えております。

湊線の次の１００周年に向け、一層のご支援ご愛顧をいただきますようお願いいたします。

平成２７年３月１日

ひたちなか海浜鉄道株式会社
取締役社長　吉田千秋